

ニイヤだより



毎度ご利用いただき誠にありがとうございます

季節は春。桜の下を散歩したり、お花見をしたり楽しい季節が来たというのに、今年は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの自粛、外出の自粛等でなんだかストレスを感じる方も多いのではないのでしょうか？ 気持ちは沈みがちですが、こんな時こそ何かできることから始めなくてはと頑張る時なのかもしれません。弊社では災害時の対応が課題となっております。この機会に改めて検討したいと思っております。

日常備蓄の用意は冷静に！

災害が起きるたび、買い占めが問題になりますが、今回も新型コロナウイルス感染症の影響で買い占めが問題になっています。店頭からは買い占めの影響で品薄の商品も出ていますが、在庫は十分にあるようです。この影響で店舗からの発注量が増え、配送量が増えた配送業者の方に大きな負担がかかっているそうです。二次災害防止のためにも必要に応じて購入するようにしましょう。また、この機会に突然起こる自然災害を想定し少しずつ「もしもの備え」をすすめてみてはいかがでしょうか？私は、今回ずっと躊躇していたスマートフォンのモバイルバッテリーとLED懐中電灯を購入しました。東日本大震災後からガソリンは半分以下にしないように心がけている方も多いと思いますが私もその一人です。

備蓄 5つのポイント

1. 冷蔵庫は食料品備蓄庫

一般家庭であれば、冷蔵庫の中やそのほかの買い置き食料品が1~2週間分あると言われております。例えば冷凍庫の物から食べ始め、次に冷蔵庫の物、そのほかの食品と順序を考えれば、普段ある物で数日間は食べつなぐことができるそうです。今回私も我が家の食料品を整理してみました。割とありました。

2. 生活水の重要性

断水になると、最も困るのは生活水が使えなくなること。いざという時に備えて、常に風呂に水を張っておくようにしましょう。注)お子様のいるご家庭は水の事故につながる恐れがあるので注意が必要です。

3. オール電化住宅の必需品

オール電化住宅の場合、停電になったときにはお湯を沸かすこともできなくなります。お湯が使えれば、カップ麺など多くの食料品を利用できます。なのでカセットコンロ・ガスボンベを用意しておくことをおすすめします。オール電化住宅に限らず、カセットコンロは備えておくのと何かと便利です。

4. 一人暮らしの備蓄

コンビニ利用が多い一人暮らしの方は、冷蔵庫に1週間分の食料品がないことが多いので、そのような場合は冷凍食品やカップ麺、レトルト食品、スナック菓子、ビールなど自分の好みの物をいつもより少し多めに買い置きしておきましょう。

5. 使用期限のチェック

食品の賞味期限と同じように、電池、薬、使い捨てカイロなどにも使用期限があります。いざという時にあわてないように、定期的に点検しましょう。

☆買い占めまではしないものの、やはりこのような時は不安なのでいつもより少し多めに買い物してしまふ事もあると思います。ただそのような時は、家族構成や保管場所などを考え、冷凍食品や冷蔵品、カップ麺、缶詰、乾物などバランスよく無駄のない買い方をするように心がけましょう。たくさん買って無駄に消費してしまったり、フードロスにつながる買い方は避けましょう。

住まいのお悩みご相談ください。

LPガス・灯油・給湯器・風呂釜・浄水器・水・太陽光・太陽熱
キッチン・トイレ・浴室、水回りの設備・お家のリフォームなど

Niyya 株式会社 ニイヤ TEL 042-762-0320

★ホームページもご覧ください★

<http://www.smile-niyya.co.jp/>

または、「住まいるニイヤ」で検索ください。
よろしくお願い致します。



甘辛しょうが焼き丼



材料(4人分)

| | |
|--------------|---------------|
| 豚バラ肉(焼き肉用) | 400g |
| 長芋 | 12~14cm(320g) |
| 片栗粉 | 少々 |
| サラダ油 | 小さじ2 |
| 酒 | 大さじ4 |
| 合わせ調味料 | |
| ・しょうが(すりおろし) | 小さじ2 |
| ・しょうゆ | 大さじ5 |
| ・みりん | 大さじ4 |
| ・さとう | 大さじ2 |
| しょうが(すりおろし) | 小さじ2 |
| ご飯 | 4人分 |

作り方

- しょうがをすりおろします。
- 合わせ調味料(しょうが、しょうゆ、みりん、さとう)を作ります。
- 長芋は皮をむき、スライサーで千切りにします。豚肉は5~6cm長さに切り、片栗粉をまぶします。
- フライパンにサラダ油を中火で熱し、豚肉の両面を焼きます。フライパンにある豚肉の油をキッチンペーパーで吸い取り、酒大さじ4(60cc)をふり、②の合わせ調味料を加えてからめます。
- 器にご飯を盛り、長芋、豚肉の順にのせて、フライパンに残っているタレをかけ、しょうがをのせたら出来上がりです。混ぜながらお召し上がりください。



家電総合広告『いいもの特急便』の折込は

新型コロナウイルス感染症の影響で当面の間中止させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、一部家電商品の入荷に影響が出ております。そのため、家電総合広告「いいもの特急便」に掲載している商品も一部入荷困難になる場合が考えられますので、弊社では新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着くまで、当面の間、家電総合広告と住宅設備機器総合広告の折込を中止させていただきます。但し、家電商品、住宅設備機器のお問い合わせは随時受け付けておりますのでお問合せください。その都度対応させていただきます。ガス器具につきましては、一部の商品を除いて安定しておりますので、安定した商品のみ掲載した広告を折り込みさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。



『泳げ鯉のぼり相模川』事業終了のお知らせ

毎年、ニイヤだよりで開催日等紹介させていただいていた『泳げ鯉のぼり相模川』は、昔懐かしい鯉のぼりを、自然に恵まれた魅力ある相模川に再び群泳させ、人と人との出会いとふれあいの場を提供すると共に、子供たちに夢や思い出を与え、さらに《母なる川、相模川》を共有する人々による新たな文化の創造に寄与することを目的として、昭和63年より32回にわたり実施されてきましたが、資器材の老朽化や、近年の会場の環境変化などの課題があり検討を重ねた結果、事業終了となりました。事業終了はとても残念ですが、毎年鯉のぼりを見に来る観光客で河原も大変賑わい人と人とのふれあいの場に十分だったことと思います。特に地元の子供たちにとっては幼い頃の懐かしい思い出の一つになったことでしょう。ゴールデンウィークが始まると河原から屋台の匂いが水郷田名中に漂い鯉のぼりの始まりを感じさせます。何年も会っていない友人に偶然再会したり、孫や我が子のために鯉のぼりを寄贈し家族で鯉のぼりを見つけに行ったり、泳げ鯉のぼり相模川の初年度は夜田名坂上から水郷田名に下りる途中に見える大量の布切れのようなものが川の上をぶら下がっているのを見て、何がぶら下がっているのか見に行った方も多かったのではないのでしょうか？また、大量の鯉のぼりをどのように川の上を渡らせ泳がせるのか？どのように下すのか一度見たいと作業を見に行く方もいました。ゴールデンウィーク中は毎年のようにテレビで相模川を泳ぐ鯉のぼりが放送されるほど有名なイベントにもなりました。沢山の思い出を作ってくれた、実行委員会、事業関係者、ボランティアの方々今まで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。沢山の思い出をありがとうございます。

